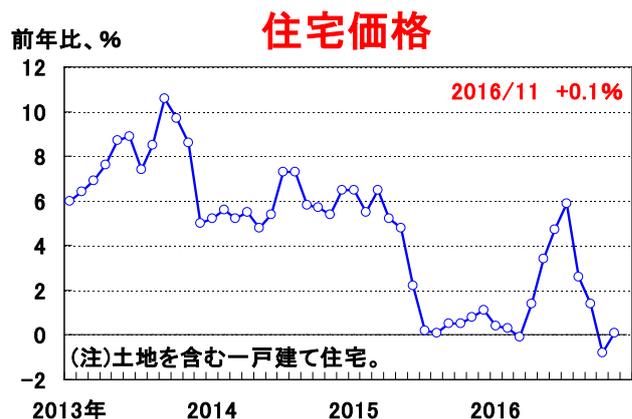
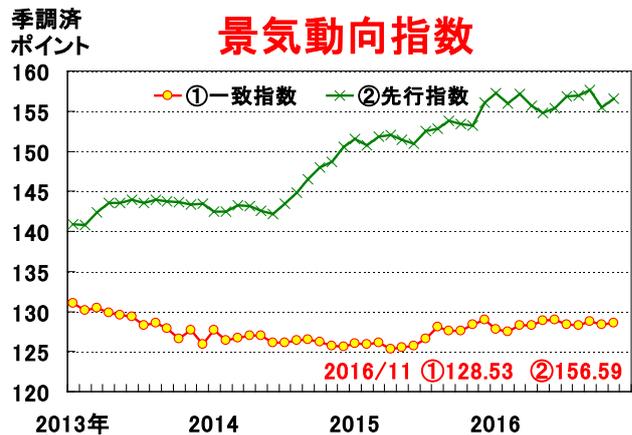
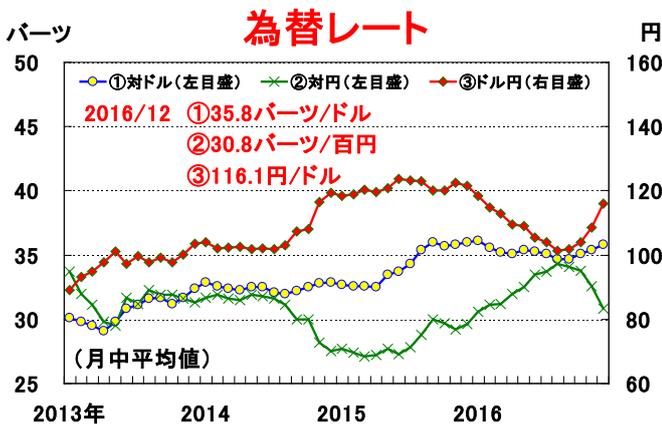
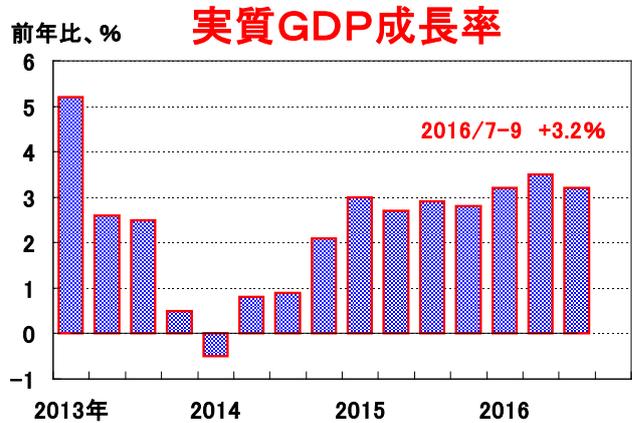
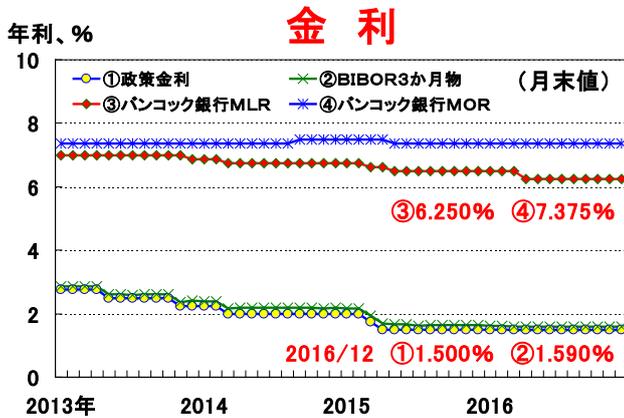


グラフで見るタイ経済 2017年1月号(No. 91)

タイ景気は企業部門が持ち直している。11月の輸出は前年比+10.2%と前年実績を上回り、9か月ぶりの高い伸びとなった。地域別には、中国向けや日本向けが加速し、また米国向けもプラスに転じた。同月の工業生産指数は前月比+2.1%と、主力産業の自動車の増産もあり、2か月続けて上昇した。足元の12月の企業景況感指数が50.3と3か月ぶりに中立水準の50を上回り、企業マインドも改善している。ただ、11月の個人消費指数は前月比-0.5%と外国人観光客の消費縮小やサービス消費の落ち込みにより、前月に続き下落している。



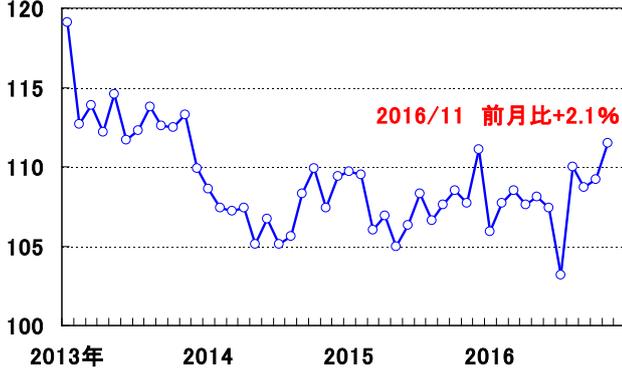
【今月のトピック:世銀は2017年に3.2%成長を予測】世界銀行の12月19日公表の「タイ・エコノミック・モニター」では経済見通しが示された。タイの実質経済成長率は2016年の3.1%から、2017年には3.2%へ上昇する見込みである(2015年の実績は2.8%)。個人消費の堅調な拡大と、鉄道の複線化を始めとしたインフラ投資が経済の牽引役になると予測されている。加えて、世界経済の回復を背景に輸出の伸びも上向くことが予測されている。タイ前国王の死去による一時的な経済の不振は、政府による消費と観光の振興策によって打ち消される見込みである。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会 (NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

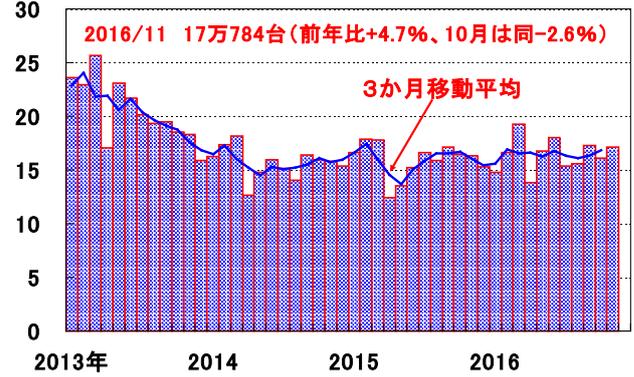
季調済
2000年=100

工業生産指数

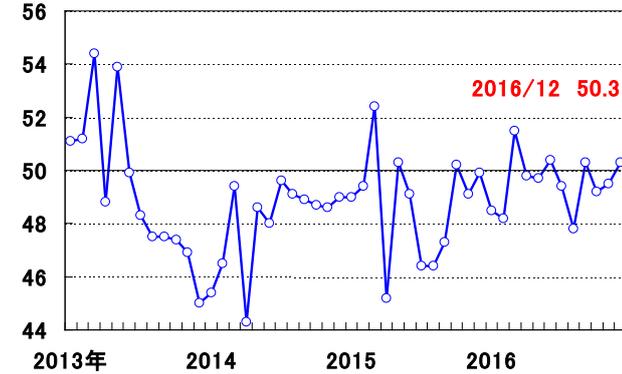


万台

自動車生産台数

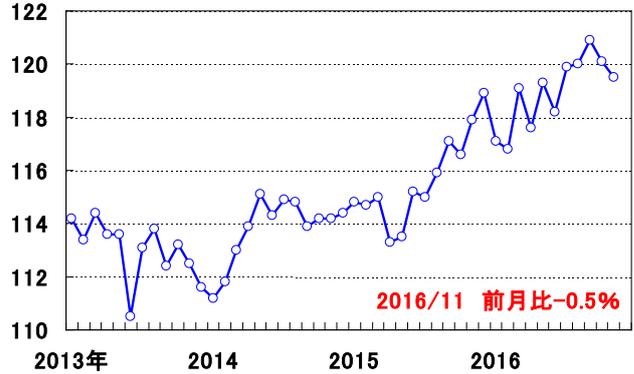


中立水準=50 **企業景況指数(BSI)**



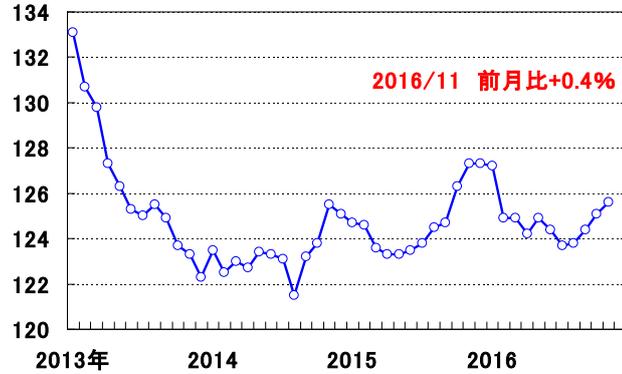
季調済
2000年=100

個人消費指数



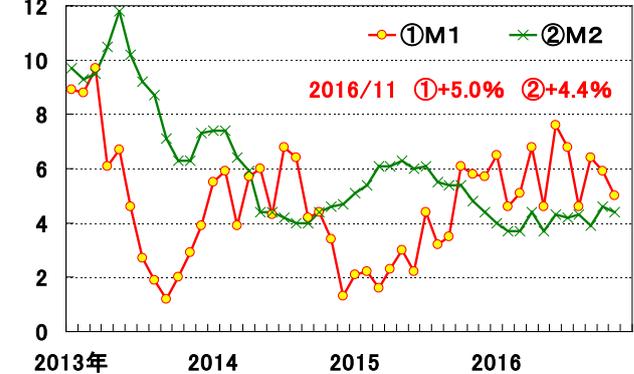
季調済
2010年=100

民間投資指数



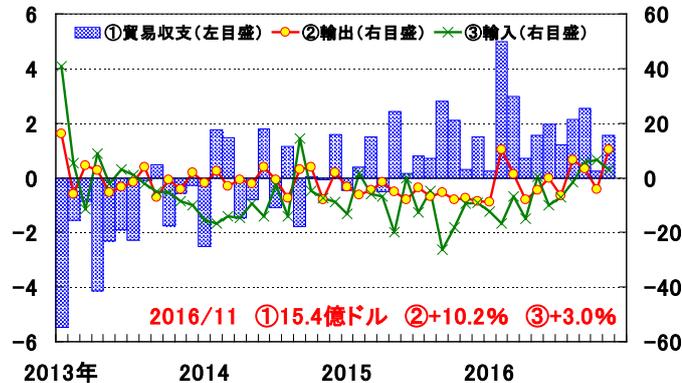
前年比、%

マネーサプライ



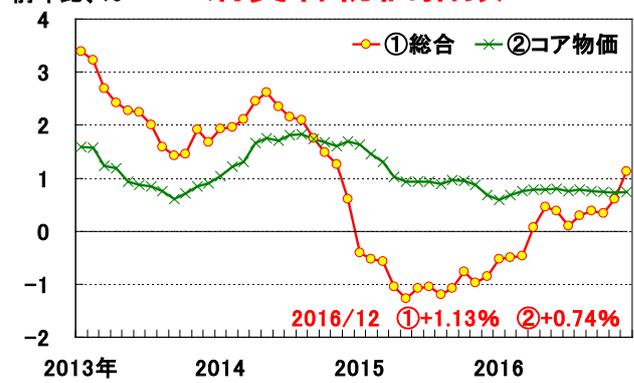
10億ドル

貿易収支



前年比、%

消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。